

東北学院大学の改革に関する意見箱 回答

No.	2024-038
投書日	2025/3/22
タイトル	合理的配慮を受けている学生の情報共有について
投書内容	私は、持病を抱えながら学生支援室を通じて合理的配慮を受けている学生です。まず、これまで支援室からサポートを受けていることについて、感謝申し上げます。 しかしながら、今年度後期の成績に関する面談の際に、改善を求める点がございましたので、ご意見としてお伝えいたします。後期において、体調不良が長期にわたり続いた影響で講義への出席が難しくなり、結果として多くの単位を落とすこととなりました。本日、成績について大学教員との面談が行われたのですが、面談を担当された教員に、私の持病や合理的配慮に関する情報が全く共有されていない様子でした。 面談中、「勉強が苦手なんですか?」「病気は身体ですか?精神ですか?」「後期の成績が低いことは認識していますか?」といった質問を受けました。これらの発言は、私の状況が適切に伝わっていないことを示しており、大変困惑し、不快な思いをいたしました。合理的配慮を受けている学生の背景や健康状態は、面談を行う教員に事前に共有されるべきだと考えます。このような情報共有がなされていれば、より建設的な話し合いができたのではないかと感じております。 つきましては、今後同様の状況を防ぐためにも、合理的配慮を受けている学生に関する必要最低限の情報を、面談や指導を担当する教員に事前に伝達する仕組みを検討していただけないでしょうか。学生支援室と教員間の連携が強化されることで、私を含めた学生がより安心して学業に取り組める環境が整うと信じております。 お忙しいところ恐れ入りますが、ご一考いただけますと幸いです。どうぞよろしくお願い申し上げます。
回答日	2025/4/11
回答	この度は、ご不快な思いをさせてしまい誠に申し訳ございませんでした。ご指摘いただきました通り、合理的配慮を受けている学生の皆様に関する情報共有が十分でなかった点について、重ねてお詫び申し上げます。学生支援室では合理的配慮に係る情報共有については学生の皆様と相談をしながら情報共有の範囲を確定し、学生情報を慎重に取り扱って参りました。その上で、これまで文書による情報共有範囲は、授業担当教員、学部長、学科長および関係部署に限定して配付しておりました。 2025年度からは、学生の皆様との面談や指導に役立てられるようにグループ主任等にも同文書を配付して情報共有する予定です。ご指摘のように面談や指導を担当する教員に直接、確実に伝達できる仕組みを確立することは重要だと考えております。引き続き、合理的配慮を受けている学生の皆さんが安心して学業に取り組める環境を整えて参ります。